

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	減災工学		
科目基礎情報							
科目番号	0006		科目区分	専門 / 選択必修			
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	産業技術システム工学専攻 (社会環境システム工学コース)		対象学年	専2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	配布資料						
担当教員	金澤 伸一						
到達目標							
①地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対するハード面の対策を説明できる。 ②災害に対するソフト面からの対策を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対し、ハード・ソフト合わせた総合的な減災対策について学習する。						
授業の進め方・方法							
注意点	随時小テストを実施するので、授業中もその対応ができるようにしておく。 減災についてハード、ソフト両面から総合的に説明するため、各自治市や県の地域防災計画等を読み、減災の全体像を把握することに努める。 定期試験の成績を70%、随時実施する小テストの成績を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	総論	災害の歴史			
		2週	津波災害 1	津波被害の歴史と対策 1			
		3週	津波災害 2	津波被害の歴史と対策 2			
		4週	地震災害 1	地震災害の歴史と対策			
		5週	地震災害 2	地震災害と対策			
		6週	地震災害 3	地震災害における都市型災害			
		7週	地震災害のまとめ	震災と復興事業			
		8週	火災	火災の歴史と対策			
	2ndQ	9週	地盤にまつわる災害 1	液状化とその対策 1			
		10週	地盤にまつわる災害 2	液状化とその対策 2			
		11週	地盤にまつわる災害 3	土砂災害			
		12週	地盤にまつわる災害 4	土構造物の被害とその対策 1			
		13週	地盤にまつわる災害 5	土構造物の被害とその対策 2			
		14週	地盤にまつわる災害 6	地盤環境問題			
		15週	総括	全体のまとめ、答案の確認			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0